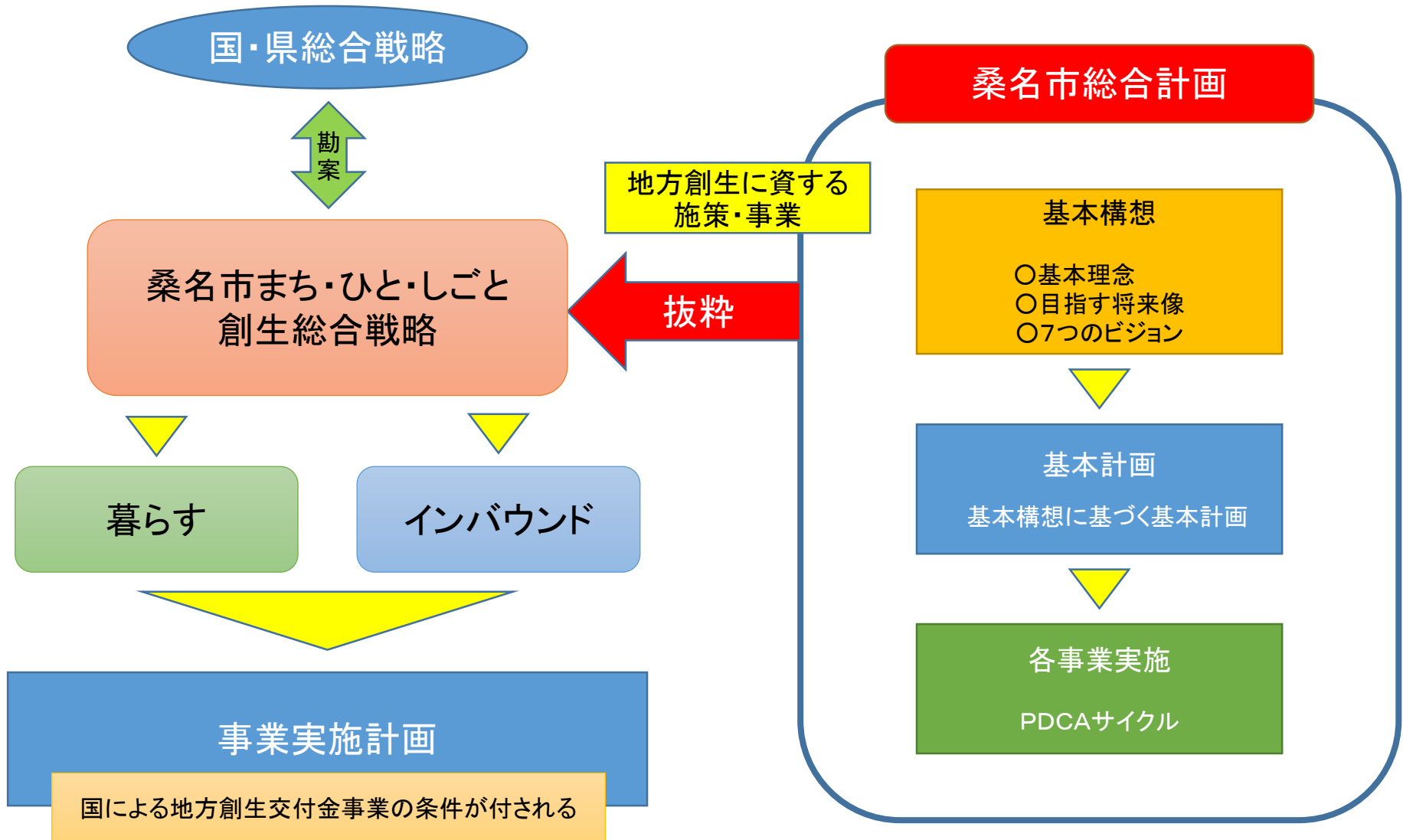




地方創生加速化交付金事業の実施について

市長公室 政策経営課

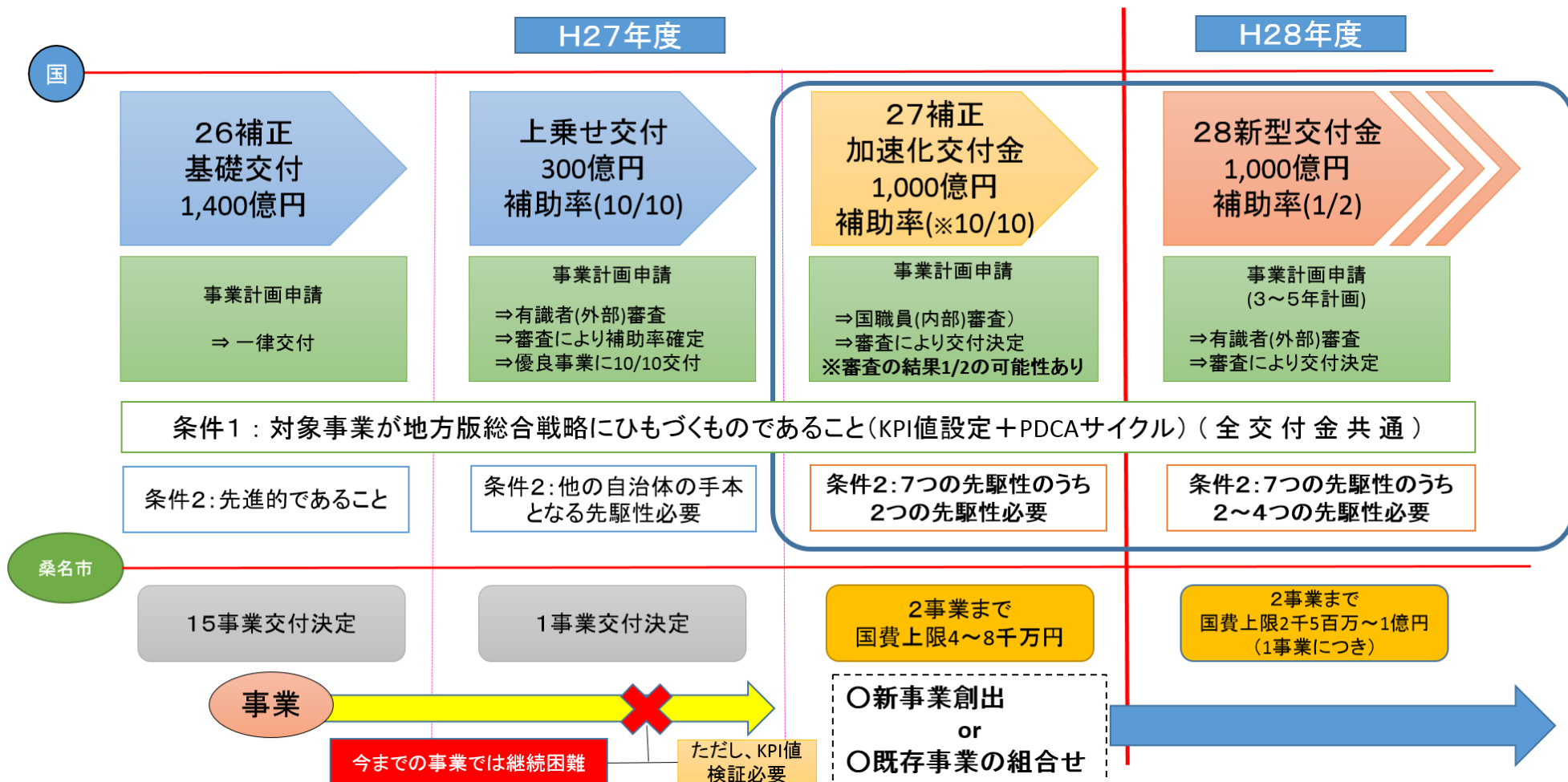
国の交付金を活用した桑名市総合戦略の実施事業案について



国の示す地方創生交付金の仕組み



本物力こそ桑名力



地方創生における「先駆性」について



本物力こそ桑名力

- ① 自立性 : 事業主体が「稼ぐ」能力を有すること。
- ② 官民協働 : 地方自治体だけでなく、民間と協働して事業を実施すること。
- ③ 地域間連携 : 単一自治体だけでなく複数の自治体で実施すること。
- ④ 政策間連携 : 単一政策だけでなく複数の政策の課題を同時に解決できること。(例:子育て×介護など)
- ⑤ 事業推進主体の形成 : 事業を継続的に実施する主体が必要。特にリーダー格の人材を有するとよい。
- ⑥ 地方創生人材の確保・育成 : 事業を実施する人材の確保と育成をすること。
- ⑦ 国の総合戦略における5原則等 : 将来性・地域性・直接性の観点や、新規性があり、他の自治体の見本となること。

26補正 基礎交付

・先進的な取り組みであればOK
(申請が受理されれば○)

上乗せ交付

・他の自治体の見本となるような、先進的な取り組みを優良とする。

27補正 加速化交付

【先駆性】

上記②、③、④のうち2つ

以上の項目が必要

28 新型交付

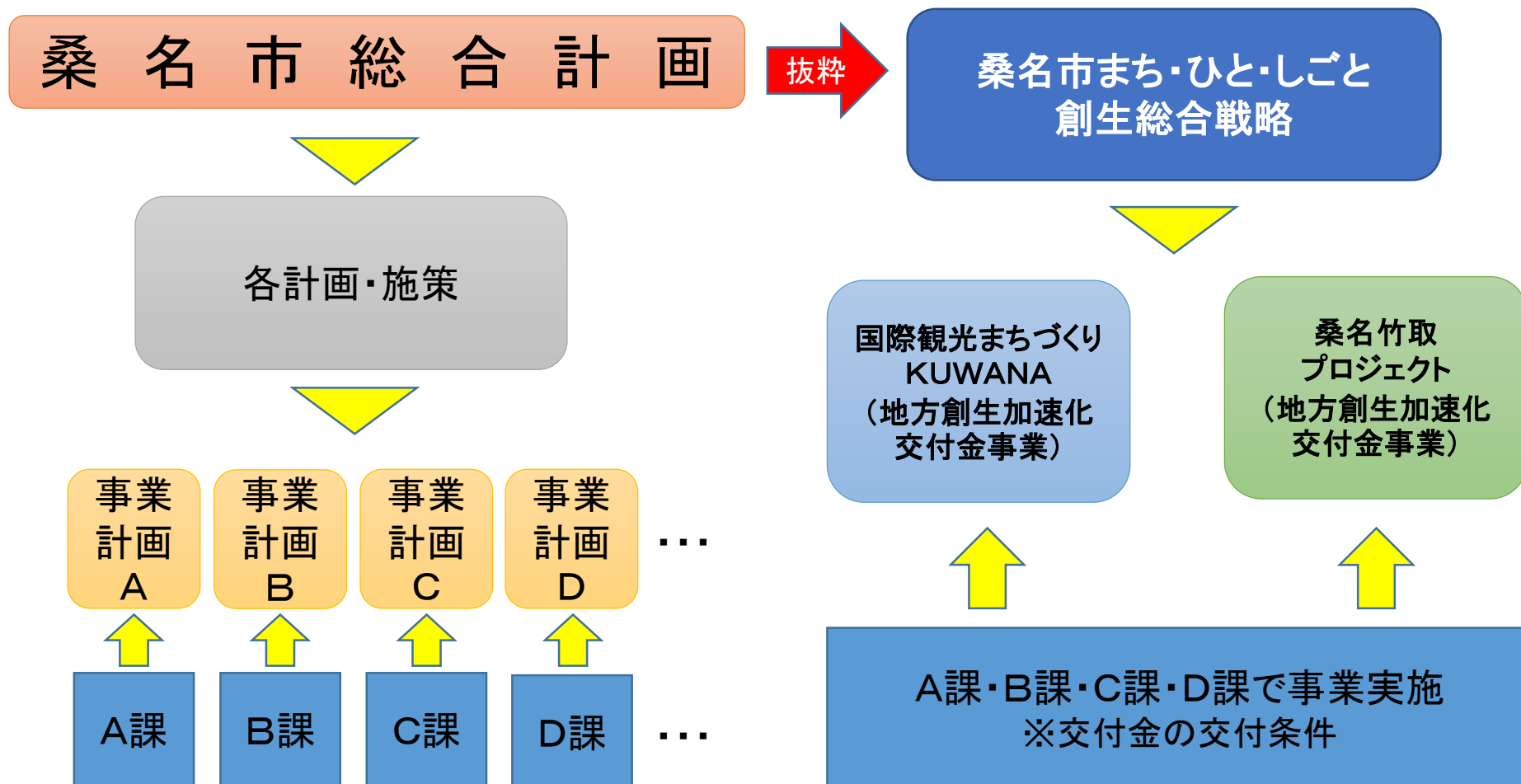
【先駆性】

基本的に
上記①、②、③、④が重要

地方創生加速化交付金事業の位置付け



本物力こそ桑名力



桑名市の地方創生事業の対象分野と相乗効果



本物力こそ桑名力

本市地方創生事業は各分野について横断的に実施し、その相乗効果を狙う。

桑名の活力を創出

人口減少に歯止めをかけ、持続可能な魅力あるまちの実現のために実施

雇用創出

観光振興

○インバウンドによる経済効果
○既存観光施設・商業施設の活性化

産業振興

○農林業の活性化・人材育成
○地場産業の活性化・人材育成
○既存企業の雇用促進

教育

多文化
共生

企業
連携

人材
活用

環境
保全

防災

- ・市民の誇りの醸成
- ・若い世代の将来的な定着
- ・体験による心身の健全育成

- ・誰にもやさしい環境整備
- ・異文化理解による円滑な自治

- ・企業（産業）観光による経済効果
- ・公民連携の推進

- ・高齢者の活躍
- ・市民団体との連携
- ・在住外国人の活躍

- ・放棄地の改善による環境美化
- ・廃棄されるモノの利活用

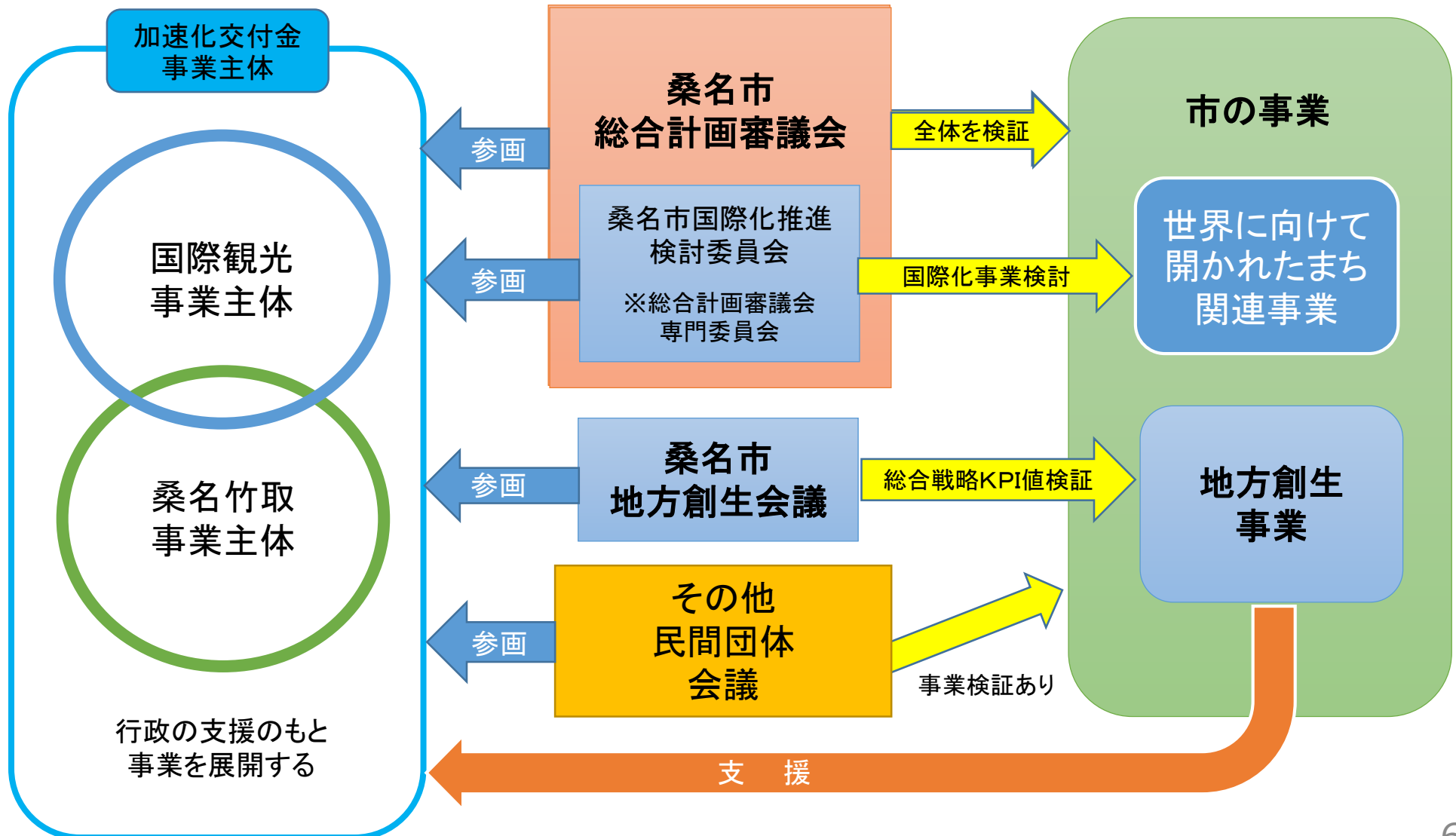
- ・災害に強い環境整備

地方創生加速化交付金事業

事業及び事業主体と各外部組織等との関係



本物力こそ桑名力



事業 1 国際観光まちづくりKUWANA（趣旨）



本物力こそ桑名力

目的：国際観光を地域全体で推進することで、地域経済の向上を促進する。

方向性：事業主体が将来的に自己資金で運営ができるよう関係機関で支援する。

本事業：外国人の受け入れ態勢強化を図り、誘客手法を地域全体で編み出す。

○国際観光化推進プロジェクトチーム（仮称）：市（教育委員会含む）・観光団体・商工団体・金融機関・旅行会社・NPO法人等で構成。
事業の企画・立案・実行等に取り組む。

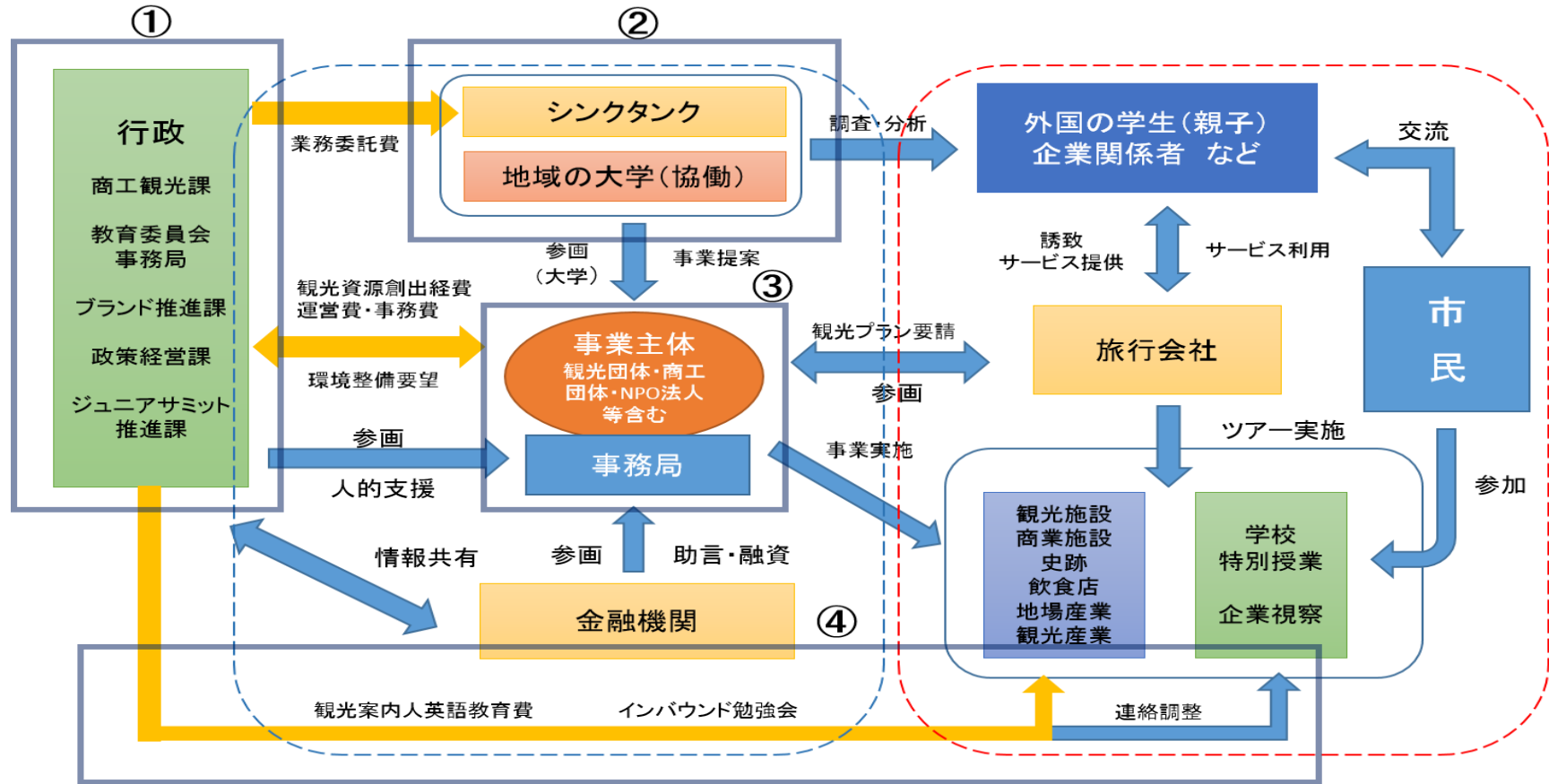
○市場：主に海外に向けた事業を展開し、「ジュニア・サミット開催地」のブランド力を発揮する。今後「桑名ジュニア・サミット（仮称）」を定期的に開催することで、持続可能な事業推進を狙う。効果として、市内児童・生徒との交流を図ることで、英語使用機会の増加と国際感覚の醸成ができる。また、来訪者にも「第二のふるさとKUWANA」を印象付けることで、再度来訪してもらうこと（個人旅行）にもつなげ、地域活性化に寄与する。また、本市にある産業を担う企業に、「産業観光」として外国人を誘致する。

○調査分析業務：旅行会社等のシンクタンクに委託をし、市場調査、ニーズ調査、ターゲット調査を実施。その分析をし、データに基づいた事業の効果的な手法等を提案させる。また、「教育観光」のみならず、様々な分野（産業観光、伝統工芸（匠の技術）の継承、免税等）における可能性も調査・分析する。その他、各関係機関（外部・内部問わず）との連絡調整機能も持たせ、円滑な業務を推進に寄与する。また、地域の大学等を助言機関として置くことで、関係者の調整機能を強化する。

○新たな観光資源：プロジェクトチームにより新たな観光資源創出に取り組むことで、事業主体の自主財源を確保する。
※事業主体により旅行商品開発（外国人プロガー誘致等）や今後の住吉（九華公園含む）周辺の事業検討を進める等。

○インバウンド対策：市内商業施設や飲食店等の経営者を対象に、インバウンド対策の勉強会を開催する。
また、観光案内ボランティアに英語対応ができるようレッスンを開催する。
中部国際空港や関西国際空港等でのデジタルサイネージの検討やSNSサイト開設を検討する。

事業1 国際観光まちづくりKUWANA（スキーム図案）



- ① 庁内会議を開き、組織全体の共通理解を深め、全課で事業に取り組む。また、事業期間中、随時ミーティングを開く。
- ② シンクタンクプロポーザル等で選定し、事業全体の支援を委託。また地域の大学を事業全体のコーディネーターとして迎え、事業を進める。
- ③ 民間団体を中心として市も参画する事業主体を形成(募集方法要検討)し、事業の企画・立案・実施を中心的に担う。また行政が事務局を担う。
- ① ③の意思決定等を受け、行政で各課担当する支援の調整を行う。
- ④ ③の意思決定等を受け、市内施設や企業等への支援を実行する。
- ① ③の企画した事業実施の支援を行う。

事業２ 桑名竹取プロジェクト（趣旨）

目的： タケノコの六次産業化と「竹」を用いた事業を推進することで、地域の活性化を図る。

方向性： 事業主体が将来的に自己資金で運営ができるよう関係機関で支援する。

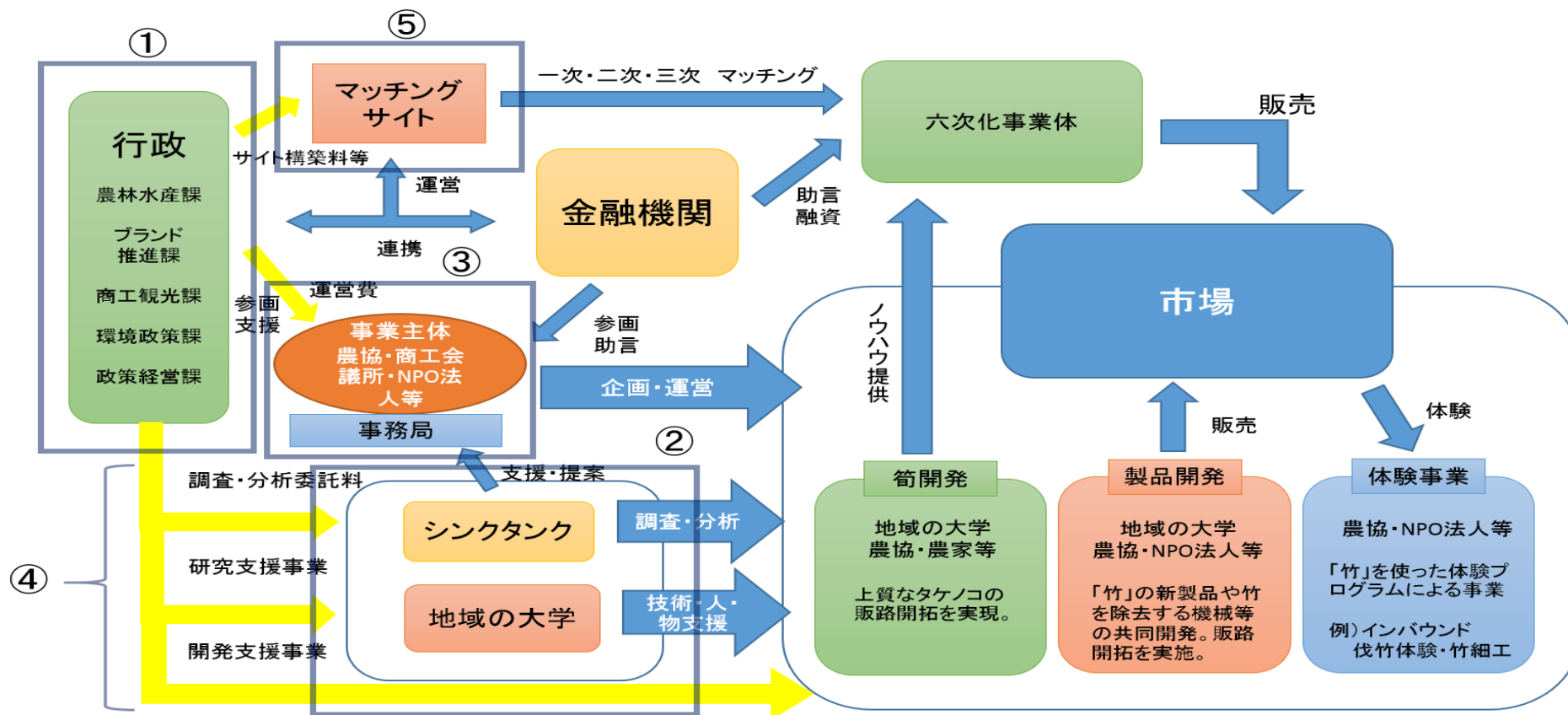
本事業： 事業のための研究開発を進めると同時に、六次化に資するマッチング事業を実施。

- 竹取プロジェクトチーム(仮称):市・農協・地域大学・商工団体・金融機関・NPO法人等で構成。事業の企画・立案・実行等に取り組む。
また、イベント等(有料)を開催し、将来的な運営費を捻出する。
- 市場:地産地消を基本に事業に取り組むが、販路を市外・県外に向け拡大し、将来的には世界に向けて販売できるようにする。タケノコはもちろん、その加工品や新たな竹製品を戦略的に売り込む。
- 調査分析業務:六次産業化に強みがあり、かつ販路開拓に長けたシンクタンク等に委託し、データに基づいた事業の手法等を提案させるほか、本事業にかかる製品の販路を確保させる。また、関係者間の調整やプロジェクトチームの補助をさせる。また、地域の大学を助言機関に置くことで、関係者の調整機能を強化する。
- 製品開発支援:事業主体が竹の利活用を念頭に、新たな製品の開発をするための支援を実施する。また、桑名の伝統工芸や匠の技術とのマッチングをし、新たな価値の創造を検討する。事業は農協・NPO法人・地域の大学・シンクタンク等が共同開発する。また、製品の販路拡大のため、東京等に向けて戦略的にマーケティングを展開する支援を実施する他、体験事業の支援も行う。
- マッチング事業:市と金融機関で一次産業者と二次・三次産業者が六次化事業体を形成できるよう、マッチングサイト構築・運営を委託する。
本事業の主旨を理解してもらった一次生産者をサイトに登録し、二次・三次産業者の募集をする。

事業2 桑名竹取プロジェクト（スキーム図案）



本物力こそ桑名力



- ① 庁内会議を開き、組織全体の共通理解を深め、全課で事業に取り組む。また、事業期間中、随時ミーティングを開く。
- ② シンクタンクプロポーザル等で選定し、事業全体の支援を委託。また地域の大学を事業全体のコーディネーターとして迎え、事業を進める。
- ③ 民間団体を中心として市も参画する事業主体を形成（募集方法要検討）し、事業の企画・立案・実施を中心的に担う。また行政が事務局を担う。
- ① ③の意思決定等を受け、行政で各課担当する支援の調整を行う。
- ④ ③の意思決定等を受け、事業の支援を実行する。
- ① 市の事業（特に体験事業等）を③の事業にと融合させ、公民連携事業を水平展開する。

事業実施部局と関連部局（案）



本物力こそ桑名力

事業1

国際観光まちづくりKUWANA

（ポストジュニアサミット推進事業）

事業費：38,000千円

連携

政策経営課、ブランド推進課、ジュニアサミット推進課、
地域コミュニティ課、文化課、商工観光課、教育委員会事務局、
その他関連部署

事業2

桑名竹取プロジェクト

（六次産業化推進事業）

事業費：41,500千円

連携

政策経営課、ブランド推進課、地域コミュニティ課、商工観光課、
農林水産課、環境政策課、その他関連部署

国際観光まちづくり推進事業事務分掌（案）



本物力こそ桑名力

- 政策経営課・・・事業の進捗確認、シンクタンク(コンサル)の選定・契約(※選定は全課参加予定)、消耗品等調達、総合計画及び総合戦略審議会事務局
- ブランド推進課・・・本事業に関する情報発信、戦略的PR、ブランド推進委員会との連携
- ジュニアサミット推進課・・・ジュニアサミット実施、市民会議との調整
- 地域コミュニティ課・・・NPO法人等市民団体の支援・相談
- 文化課・・・文化施設・史跡等管理者との調整、文化財保存等の助言
- 商工観光課・・・事業主体の事務局、他の関係団体との調整、企業との連携、インバウンド勉強会・観光ボランティア英会話受講支援等
- 教育委員会事務局・・・各学校(私立含む)との調整、海外の学校関係者との調整
- その他部署・・・事業主体による事業展開により適宜支援

桑名竹取プロジェクト推進事業事務分掌（案）



本物力こそ桑名力

- 政策経営課・・・事業の進捗確認、シンクタンク(コンサル)の選定・契約(※選定は全課参加予定)、消耗品等調達、総合計画及び総合戦略審議会事務局
- ブランド推進課・・・体験事業とブランド推進事業の融合、本事業に関する情報発信、戦略的PR、ブランド推進委員会との連携
- 地域コミュニティ課・・・NPO法人等市民団体の支援・相談
- 商工観光課・・・産業の六次化(三次産業者)の支援、伝統工芸・地場産業者の支援、国際観光まちづくり推進事業との調整
- 農林水産課・・・事業主体の事務局、他の関係団体との調整、既存生産者との調整、
- 環境政策課・・・竹の除去事業(体験事業)の支援、竹の利活用(エネルギー利用)事業への支援
- その他関連部署・・・事業主体による事業展開により適宜支援

H28年度 各事業（共通）の目標達成時期（案）



本物力こそ桑名力

基本目標（事業終了までに達成する事項）

- ①自主運営できる事業主体形成
- ②有効な事業（アイデア）の創出（確定）
- ③次年度以降に続く、継続的な方向性を確立

